

事業所名

はあとm+M新山口

支援プログラム(放課後等デイ、児童発達支援、医療型児童発達支援)

作成日

2024年

12月

28日

法人（事業所）理念		個々に寄り添い、障がいがあってもいろんな経験や体験をすることで、自分らしく輝ける居場所作りをおこなっていきます。			
支援方針		個々のニーズに寄り添い、 ①医療やリハビリ等、日常生活動作や身体面活動支援 ②発達面の成長を目指したレクリエーション等集団活動の実施 ③社会とつながる体験活動 を設定して支援していきます。			
営業時間		月～土 8：30～17：30	送迎実施の有無	あり	
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態を把握します。（体温測定・学校や家庭からの申し送り） 生活上のスキル（排泄・食事・持ち物管理等）が維持向上するように支援します。 構造化を取り入れ、情報の整理をし、視覚的支援や明確な指示で安心感を与え、予測可能な環境を作っていきます。 			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 運動レクリエーションやリズムに合わせて体を動かす運動（よさこい・ダンス等）を行い、バランス感覚や体力の向上を目指します。 制作や感触遊びを通して指先を刺激し、指先の動きや五感を刺激し興味の幅を広げられるよう支援します。 専門職のサポートにより、身体機能訓練（リハビリ）を実施し、身体機能の維持向上を目指します。 			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 外出レクに参加することで、季節・環境の変化が体感でき、地域社会とつながる経験ができるよう支援します。 クッキングや制作を通して、形、色、大小、数、重さ、硬い柔らかい等、五感を刺激し発達面での促進を図ります。 			
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 日々の活動の中で、言葉に触れ、自身の思いを伝える経験ができるように支援します。 発語の難しい児童に対し、言葉にできない思いを身体の様々な合図でキャッチし、コミュニケーションが図れるよう支援します。 絵カード等障がい特性に合わせたツールを使用し、非言語でのコミュニケーションを支援します。 			
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に過ごしながら、人との関わり方や距離感について学べるようにします。 外出や地域交流活動に参加することで、社会経験を広げていきます。 			
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 子育てに関する困りごとの相談支援を行います。 家族のレスパイトや就労等による預かりニーズに対応していきます。 親子行事等によって、保護者同士の交流を促進していきます。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 将来的な移行の準備として、いろいろな情報提供をします。 様々な地域イベントに参加し、地域とつながる機会を持ちます。 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 地域の公共施設を利用し、地域資源を活用していきます。 学校や地域の福祉サービスと連携していきます。 法人が地域の人を招くイベントに参加して交流します。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 職員の専門性を活かして、定期的な研修等。学ぶ機会を持ちます。 	
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 季節を感じる行事（花見・丹後の節句・プール・夏祭り・初詣・そうめん流し・敬老会・ハロウィン・クリスマス会・もちつき・節分・ひな祭り等） 防災・安全学習（消防署・交通センター・避難訓練（火事・地震・水害）） 保護者会・親子行事 			